

平成24年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第2四半期の業績(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第2四半期	1,442	2.3	34	△11.9	41	△9.7	3	△16.2
23年11月期第2四半期	1,410	△0.8	39	23.1	45	7.1	4	△76.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第2四半期	1.41	—
23年11月期第2四半期	1.68	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第2四半期	7,861	6,777	86.2	2,403.42
23年11月期	7,691	6,821	88.7	2,419.12

(参考) 自己資本 24年11月期第2四半期 6,777百万円 23年11月期 6,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	17.50	17.50
24年11月期	—	0.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	17.50	17.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,824	4.5	44	152.9	48	77.8	10	—	3.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期2Q	3,339,995 株	23年11月期	3,339,995 株
24年11月期2Q	520,091 株	23年11月期	520,091 株
24年11月期2Q	2,819,904 株	23年11月期2Q	2,819,904 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(7) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)における日本経済は、欧州の債務問題や円高の進行による影響等により、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いたものの、生活関連需要が底固い推移を示すなど、消費マインドに回復の兆しがみられました。

一方、当社の関連するアウトドア関連産業では、ラニーニャ現象による厳冬に引き続き、春以降も気温低下や天候の乱れる地域もみられ、これらに景況が左右される展開となりました。

こうした状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的な営業活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期の売上高は14億42百万円(前年同期比2.3%増)となりました。また、営業利益は34百万円(前年同期比11.9%減)、経常利益は41百万円(前年同期比9.7%減)となりました。なお、税率変更などによる繰延税金資産の取崩しの影響を受け、四半期純利益は3百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、既述の天候要因のほか、一部地域における放射線の風評被害や釣り場の解禁遅延等により、取引先小売店の販売が影響を受けるかたちとなりました。このような状況の中、フライ(毛鉤)用品やサイトマスター(偏光サングラス)の販売が堅調に推移したものの、フィッシングロッド(釣竿)やルアー(擬似餌)の一部商品に入荷遅延が発生したこと等が影響し、フィッシング事業の営業成績は概して低調な結果となりました。

これにより、フィッシング事業の売上高は6億13百万円(前年同期比5.8%減)、セグメント利益(営業利益)は1億37百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、ラニーニャ現象に起因する気温低下等の影響により、男性衣料、女性衣料ともに冬物衣料を中心とした販売が順調に推移いたしました。その結果、アウトドア事業の売上高は8億22百万円(前年同期比9.4%増)、セグメント利益(営業利益)は42百万円(前年同期比38.8%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第2四半期累計期間に関しては、不動産賃貸収入の減少により、その他売上高は5百万円(前年同期比11.1%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億70百万円増加し78億61百万円となりました。

流動資産は、有価証券の満期償還による減少2億円の方、季節的な要因による商品棚卸高の増加1億56百万円や受取手形及び売掛金の増加1億16百万円などにより、前事業年度末に比べ20百万円増加し、43億73百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の取得による2億円の増加の方、長期繰延税金資産16百万円の減少や、有形固定資産の減価償却31百万円などにより、前事業年度末に比べ1億49百万円増加し34億88百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ2億14百万円増加し10億84百万円となりました。

流動負債は、仕入れが集中する季節的な影響により、支払手形及び買掛金が2億34百万円増加した一方で、返品調整引当金の減少5百万円などにより、前事業年度末に比べ2億15百万円増加し8億71百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末とほぼ同額の2億12百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ44百万円減少し67億77百万円となりました。これは主に、前事業年度決算の配当支出49百万円などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ28百万円減少し、6億11百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、31百万円(前年同四半期の使用した資金は2億64百万円)となりました。これは主に、仕入債務の増加2億34百万円、税引前四半期純利益41百万円、減価償却費39百万円などによる資金の増加の一方、たな卸資産の増加1億55百万円、売上債権の増加1億16百万円などによる資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2百万円(前年同四半期の使用した資金は66百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6百万円の一方、敷金の返還と差入による差額収入5百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、57百万円(前年同四半期の使用した資金は71百万円)となりました。これは主に、前事業年度決算に係る配当金による支出49百万円とリース債務の返済による支出8百万円によるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年1月19日発表の「平成23年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,551,437	1,521,162
受取手形及び売掛金	484,426	600,591
有価証券	1,314,003	1,113,948
商品及び製品	911,595	1,068,213
その他	92,409	71,060
貸倒引当金	△1,453	△1,802
流動資産合計	4,352,419	4,373,174
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	803,830	781,463
土地	2,011,097	2,011,097
その他(純額)	28,790	28,234
有形固定資産合計	2,843,718	2,820,795
無形固定資産	49,391	40,657
投資その他の資産	446,229	627,317
固定資産合計	3,339,340	3,488,770
資産合計	7,691,760	7,861,944
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	489,432	723,978
未払法人税等	12,730	12,730
返品調整引当金	19,311	13,913
店舗閉鎖損失引当金	602	—
その他	134,740	121,303
流動負債合計	656,818	871,925
固定負債		
退職給付引当金	126,436	130,350
役員退職慰労引当金	48,721	53,090
その他	38,087	29,175
固定負債合計	213,244	212,616
負債合計	870,063	1,084,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,176,618	2,131,236
自己株式	△290,211	△290,211
株主資本合計	6,827,854	6,782,472
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,157	△5,069
評価・換算差額等合計	△6,157	△5,069
純資産合計	6,821,696	6,777,402
負債純資産合計	7,691,760	7,861,944

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成22年12月1日 至平成23年5月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成23年12月1日 至平成24年5月31日）
売上高	1,410,017	1,442,132
売上原価	724,509	750,552
売上総利益	685,507	691,580
返品調整引当金戻入額	18,069	19,311
返品調整引当金繰入額	13,529	13,913
差引売上総利益	690,048	696,978
販売費及び一般管理費	650,352	662,002
営業利益	39,695	34,975
営業外収益		
受取利息	3,569	2,529
受取配当金	239	256
為替差益	1,545	2,580
その他	514	817
営業外収益合計	5,868	6,184
営業外費用		
支払利息	106	61
その他	11	81
営業外費用合計	117	143
経常利益	45,446	41,017
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,501	—
特別損失合計	13,501	—
税引前四半期純利益	31,944	41,017
法人税、住民税及び事業税	7,315	6,407
法人税等調整額	19,895	30,643
法人税等合計	27,210	37,050
四半期純利益	4,734	3,966

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	31,944	41,017
減価償却費	42,916	39,965
貸倒引当金の増減額(△は減少)	385	349
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△4,540	△5,398
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△1,726	△602
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,085	3,914
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△309,132	4,369
受取利息及び受取配当金	△3,808	△2,786
支払利息	106	61
為替差損益(△は益)	△603	△644
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,501	—
売上債権の増減額(△は増加)	△128,440	△116,164
たな卸資産の増減額(△は増加)	△134,361	△155,267
仕入債務の増減額(△は減少)	248,867	234,350
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,967	△4,479
その他の流動資産の増減額(△は増加)	3,336	2,759
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,541	△8,100
その他	280	695
小計	△249,614	34,037
利息及び配当金の受取額	4,812	3,173
利息の支払額	△106	△61
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△19,178	△5,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	△264,086	31,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,053,900	△954,200
定期預金の払戻による収入	1,104,800	956,000
有価証券の取得による支出	△300,000	△300,000
有価証券の償還による収入	300,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△15,684	△6,683
無形固定資産の取得による支出	△126	△361
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△200,000
資産除去債務の履行による支出	—	△2,681
敷金の差入による支出	△13,686	△3,332
敷金及び保証金の回収による収入	11,640	8,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,957	△2,670
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△8,796	△8,796
配当金の支払額	△62,870	△49,053
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,666	△57,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	603	644
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△402,107	△28,409
現金及び現金同等物の期首残高	753,397	640,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	351,289	611,811

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	フィッシング事業	アウトドア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	651,254	752,250	1,403,504	6,512	—	1,410,017
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	651,254	752,250	1,403,504	6,512	—	1,410,017
セグメント利益又は損失(△)	152,887	30,831	183,719	4,447	△148,470	39,695

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング事業	アウトドア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	613,607	822,734	1,436,341	5,791	—	1,442,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	613,607	822,734	1,436,341	5,791	—	1,442,132
セグメント利益又は損失(△)	137,404	42,807	180,211	3,917	△149,153	34,975

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,153千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。